

平成28年
毒物劇物取扱者試験問題
(特定品目)

平成28年9月8日(木)施行

青 森 県

第1問 毒物及び劇物に関する法規

1 次は、毒物及び劇物取締法（以下、「法」という。）の条文の一部である。（ ）内にあてはまる適切な語句を下欄から選び、その記号を回答欄に記入しなさい。

- (1) この法律は、毒物及び劇物について、（問1）上の見地から必要な（問2）を行うことを目的とする。
- (2) この法律で「劇物」とは、別表第2に掲げる物であつて、医薬品及び（問3）以外のものをいう。
- (3) 興奮、幻覚又は（問4）の作用を有する毒物又は劇物（これらを含む。）であつて政令で定めるものは、みだりに摂取し、若しくは吸入し、又はこれらの目的で所持してはならない。
- (4) 引火性、（問5）又は爆発性のある毒物又は劇物であつて政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、（問6）してはならない。
- (5) 製造業又は輸入業の登録は（問7）年ごとに、販売業の登録は、（問8）年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- (6) 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者を置いたときは、（問9）日以内に、製造業又は輸入業の登録を受けている者にあつてはその製造所又は営業所の所在地の都道府県知事を経て厚生労働大臣に、販売業の登録を受けている者にあつてはその店舗の所在地の都道府県知事に、その毒物劇物取扱責任者の氏名を届け出なければならない。毒物劇物取扱責任者を変更したときも、同様とする。
- (7) 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあり、又は紛失したときは、直ちに、その旨を（問10）に届け出なければならない。

【下欄】

ア	危険防止	イ	危機管理	ウ	保健衛生	エ	監視	オ	取締
カ	麻薬	キ	医薬部外品	ク	化粧品	ケ	麻酔	コ	鎮痛
サ	揮発性	シ	発火性	ス	使用	セ	所持	ソ	3
タ	5	チ	6	ツ	10	テ	20	ト	30
ナ	60	ニ	市町村	ヌ	保健所	ネ	消防署	ノ	警察署

2 次の文章は毒物及び劇物の廃棄の方法について述べた法施行令の条文の一部である。()の中に入るべき字句の正しい組み合わせを下欄から選びなさい。

- (1) 中和、加水分解、酸化、還元、(ア)その他の方法により、毒物及び劇物並びに法第十一条第二項に規定する政令で定める物のいずれにも該当しない物とすること。
- (2) (イ)の毒物又は劇物は、保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所で、少量ずつ燃焼させること。
- (3) 前各号により難い場合には、地下(ウ)メートル以上で、かつ、地下水を汚染するおそれがない地中に確実に埋め、海面上に引き上げられ、若しくは浮き上がるおそれがない方法で海水中に沈め、又は保健衛生上危害を生ずるおそれがないその他の方法で処理すること。

【下欄】

	ア	イ	ウ
a	溶解	可燃性	1
b	溶解	揮発性	2
c	溶解	可燃性	1
d	稀釈	可燃性	1
e	稀釈	揮発性	1

3 次の文章は、毒物又は劇物の譲渡の手続きについて述べた法の条文の一部である。()の中に入るべき字句の正しい組み合わせを下欄から選びなさい。

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

- 一 毒物又は劇物の名称及び(ア)
- 二 販売又は授与の年月日
- 三 譲受人の氏名、(イ)及び住所(法人にあっては、その名称及び主たる事務所の所在地)また、その書面を、販売又は授与の日から(ウ)年間保存しなければならない。

【下欄】

	ア	イ	ウ
a	数量	年齢	3
b	数量	職業	2
c	数量	職業	5
d	色	年齢	5
e	色	職業	3

4 次の文章は、法第12条の条文の一部である。()の中に入るべき字句の正しい組み合わせを下欄から選びなさい。

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物の容器及び被包に、「(ア)」の文字及び毒物については(イ)をもつて「毒物」の文字、劇物については(ウ)をもつて「劇物」の文字を表示しなければならない。

【下欄】

	ア	イ	ウ
a	医療用外	赤地に白色	白地に赤色
b	医療用外	黒地に白色	白地に赤色
c	医薬用外	白地に赤色	赤地に白色
d	医薬用外	黒地に白色	赤地に白色
e	医薬用外	赤地に白色	白地に赤色

5 次の文章は、法第15条の条文の一部である。()の中に入るべき字句の正しい組み合わせを下欄から選びなさい。

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を次に掲げる者に交付してはならない。

- (1) (ア)歳未満の者
- (2) (イ)の障害により毒物又は劇物による保健衛生上の危害の防止の措置を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- (3) (ウ)、大麻、あへん又は覚せい剤の中毒者

【下欄】

	ア	イ	ウ
a	18	視覚	シンナー
b	18	心身	麻薬
c	18	心身	シンナー
d	17	視覚	麻薬
e	17	心身	麻薬

6 次の記述は、法の規定により毒物劇物取扱責任者になることができない者について述べたものであるが、正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- (1) 薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられた後、5年を経過した者
- (2) 17歳の者
- (3) あへんの中毒者
- (4) 劇物に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられた後、2年を経過した者

	(1)	(2)	(3)	(4)
a	誤	正	誤	誤
b	正	正	誤	誤
c	正	正	誤	正
d	誤	正	正	正
e	誤	誤	正	正

7 次のうち、法第22条に基づく業務上取扱者として届出が必要な業務として、正しい組合せを下欄から選びなさい。

- ア. 無機シアン化合物たる毒物を用いて行う、金属熱処理を行う事業
- イ. 砒素化合物たる毒物を用いて行う、電気めっきを行う事業
- ウ. 砒素化合物たる毒物を用いて行う、しろありの防除を行う事業
- エ. 無機シアン化合物たる毒物を用いて行う、倉庫のくん蒸を行う事業

【下欄】

a (ア, イ)	b (ア, ウ)	c (ア, エ)	d (イ, ウ)
e (イ, エ)	f (ウ, エ)		

8 次の文章について、法及びこれに基づく法令の規定に照らし、正しいものには ○ を、誤っているものには × を回答欄に記入しなさい。

- (1) 特定毒物研究者の許可を受けようとする者は、厚生労働大臣に申請書を出さなければならない。
- (2) 危険物取扱者は、毒物劇物取扱責任者になれる。
- (3) 毒物又は劇物の製造業者は、販売業の登録を受けなくても、一般の生活者に毒物または劇物を販売することができる。

- (4) 毒物劇物営業者は、飲食物の容器を劇物の容器として使用してはならない。
- (5) 毒物劇物取扱者試験の合格者は、合格となった都道府県でのみ毒物劇物販売業の取扱責任者になれる。
- (6) 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を廃棄する場合は、保健所職員の立会いの下に行わなければならない。
- (7) 特定毒物を製造できる者は、毒物若しくは劇物の製造業者又は特定毒物研究者である。
- (8) 毒物劇物営業者は、盗難防止のため、毒物又は劇物を保管する場所に「毒物」または「劇物」の表示をしてはならない。
- (9) 毒物劇物監視員は、厚生労働大臣若しくは都道府県知事が薬事監視員のうちからあらかじめ指定する。
- (10) 毒物劇物の販売は行うが、伝票操作のみで直接毒物劇物を取り扱わない店舗は、毒物劇物販売業の登録を受けなくても販売することができる。

第2問 基礎化学

1 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 以下の物質のうち、単体であるものを一つ選びなさい。

- 1 ダイヤモンド 2 牛乳 3 硫酸 4 アンモニア水

(2) 以下の元素のうち、ハロゲンに属するものを一つ選びなさい。

- 1 H 2 Na 3 Cl 4 Ar

(3) 以下の物質のうち、互いに同素体の関係にあるものを一つ選びなさい。

- 1 アンモニアと尿素
2 酸素とオゾン
3 メタノールとエタノール
4 水素と重水素

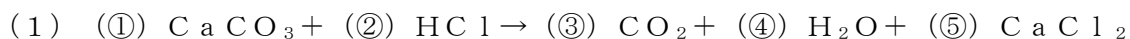
(4) 以下の記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 ドライアイスやナフタレンには昇華性がある。
2 エタンは分子からなる物質である。
3 塩化アンモニウムはイオンからなる物質である。
4 金属には熱はよく導くが、電気はあまり導かない性質がある。

(5) 以下の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 原子内の、陽子の数と中性子の数は常に同じである。
2 原子内の、陽子の数と電子の数は常に同じである。
3 陽子の数と中性子の数の和を原子番号という。
4 同じ元素の原子であっても、陽子の数が異なるものが存在する。

2 次の化学反応式を()に係数を入れて完成させよ。係数が1の場合も1と記すこと。



3 次の(1)～(10)の物質の名称を下欄から選びなさい。

- (1) NH_4NO_3 (2) HCl (3) CH_3OH (4) CHCl_3
 (5) KI (6) $\text{CH}_3\text{COOC}_2\text{H}_5$ (7) CCl_4 (8) $\text{C}_2\text{H}_5\text{COCH}_3$
 (9) HCHO (10) CH_3COCH_3

【下欄】

1 メタノール	2 硝酸アンモニウム	3 メチルエチルケトン	4 クロロホルム
5 アセトン	6 塩酸	7 ヨウ化カリウム	8 酢酸エチル
9 ホルムアルデヒド	10 四塩化炭素		

4 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 以下の表のA欄には2種類の金属が、B欄にはそれらに共通する化学的性質が示されている。B欄の記述に誤りを含むものを一つ選びなさい。

	A	B
1	Cu、Ag	希硫酸には溶けないが、熱濃硫酸には溶ける。
2	Al、Fe	希硫酸には溶けるが、濃硝酸には溶けない。
3	Zn、Pb	希硫酸にも希塩酸にも溶ける。
4	Na、Ca	常温で、水と反応して水素を発生する。

(2) 以下の記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 フッ素は水と激しく反応して、酸素を発生する。
- 2 フッ素はハロゲンの中で最も還元されやすい。
- 3 塩素は水に溶けて酸性を示す。
- 4 臭化カリウム水溶液に硫黄を入れると、臭素が発生する。

(3) 次の水溶液を pH の大きいものから順に並べるとどうなるか。最も適当なものを下欄より一つ選びなさい。

- A 0.01mol/L アンモニア水 B 0.01mol/L 水酸化ナトリウム水溶液
 C 0.01mol/L 硫酸 D 0.01mol/L 塩酸

【下欄】

1 A>B>D>C	2 A=B>D>C	3 B>A>C=D	4 B>A>D>C
-----------	-----------	-----------	-----------

(4) 以下の記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 硫化水素は還元作用をもち、二酸化硫黄と反応して硫黄を生じる。
- 2 二酸化硫黄は還元作用をもち、繊維などの漂白に用いられる。
- 3 二酸化硫黄が水に溶けると、その水溶液は強酸性を示す。
- 4 硫化水素が水に溶けると、その水溶液は弱酸性を示す。

(5) ある気体の炭化水素 20ml と酸素 250ml との混合気体に点火し、炭化水素を完全燃焼させた。そのあと、反応生成物から水と二酸化炭素を取り除き、同じ条件で残った気体の体積を測定したところ、190ml であった。この気体はどれか。

- 1 C_2H_6 2 C_3H_8 3 C_2H_4 4 C_2H_2

5 水を吸収した水酸化ナトリウム 4.0g をとり、水に溶かして 100ml とした。この溶液 50ml を中和するのに、0.50mol/L の塩酸 89ml を要した。次の問に答えなさい。

ただし、原子量は $H=1.0$, $O=16$, $Na=23$

(1) この水酸化ナトリウム水溶液 100ml 中には、何 mol の水酸化ナトリウムが含まれるか。

(2) この水酸化ナトリウムの純度は何%か。

第3問 毒物及び劇物の性質及び貯蔵その他取扱方法

1 次の物質の毒性について、それぞれ最も適当なものを下欄から一つ選びなさい。

- (1) クロロホルム
- (2) 濃硫酸
- (3) メタノール
- (4) ホルマリン
- (5) 四塩化炭素

【下欄】

- 1 脳の節細胞を麻痺させ、赤血球を溶解する。はじめは、嘔吐、瞳孔の縮小、運動性不安が現れ、次いで脳およびその他の神経細胞を麻痺せしめる。筋肉の張力は失われ、反射機能は消失し、瞳孔は散大する。
- 2 蒸気は粘膜を刺激し、吸入した場合、鼻、のど、気管支、肺等を激しく刺激し炎症を起こす。
- 3 揮発性の蒸気の吸入によることが多く、症状は、はじめ頭痛、悪心などをきたし、また黄疸のように角膜が黄色となり、しだいに尿毒症様を呈し、はなはだしいときは死ぬことがある。火災などで強熱されると、無色無臭の毒ガス、ホスゲンを生成する危険がある。
- 4 脱水作用が非常に強く、人体に触れると水を取り、同時に多量の熱を発生するため、激しいやけどを起こさせる。
- 5 神経細胞内でギ酸が発生することで、視神経が侵され失明する。また、頭痛、めまい、嘔吐、下痢、腹痛等を起こし、致死量に近ければ麻酔状態になる。

2 硝酸に関する次の記述について、正しいものに○を、誤っているものに×をつけよ。

- (1) 無色無臭の液体である。
- (2) 火薬、セルロイドなどの製造に用いられる。
- (3) 廃棄する際は、徐々にソーダ灰または消石灰などの攪拌溶液に加えて中和させたのち、多量の水で希釈して処理する。
- (4) 蒸気は眼、呼吸器などの粘膜および皮膚に強い刺激性をもつ。
- (5) 銅屑を加えて加熱すると、藍色を呈して溶け、その際赤褐色の亜硝酸の蒸気を発生する。

第4問 毒物及び劇物の識別（実地）

1 次の物質の鑑別方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (1) メタノール
- (2) 塩酸
- (3) クロロホルム
- (4) 一酸化鉛
- (5) ホルマリン

【下欄】

- 1 硝酸銀溶液を加えると、白色の沈殿を生じる。
- 2 アルコール溶液に、水酸化カリウム溶液と少量のアニリンを加えて熱すると、不快な刺激性の臭気を放つ。
- 3 サリチル酸と濃硫酸とともに熱すると、芳香のあるエステルを生じる。
- 4 希硝酸に溶かすと無色の液となり、これに硫化水素を通じると黒色の沈殿を生じる。
- 5 アンモニア水を加え、さらに硝酸銀溶液を加えると、徐々に金属銀を析出する。また、フェーリング溶液とともに熱すると、赤色の沈殿を生ずる。

2 次の薬物の性状（常温）、色及びその他の特徴等について、最も適するものを下欄から選びなさい。

- (1) キシレン
- (2) 酢酸エチル
- (3) クロロホルム
- (4) トルエン
- (5) アンモニア

【下欄】

- 1 無色澄明、揮発性の引火性液体である、果実様の香りがある。
- 2 無色の気体、強い刺激臭がある。濃塩酸に近づけると白煙を生じる。
- 3 常温では気体で、強い息が詰まるような刺激臭がある。水によく溶け、アルコール、エーテルにも溶ける。
- 4 無色透明でベンゼン様の臭気がある。水にはほとんど溶けない。
- 5 3種の異性体の混合物である。流動性のある引火性の無色液体である。水にはほとんど溶けないが、多くの有機溶媒と混合する。

第5問 毒物及び劇物の取扱方法（実地）

1 次の物質について、最も適切な廃棄方法を下欄から選びなさい。

- (1) アンモニア
- (2) 塩素
- (3) 窒化ナトリウム
- (4) メタノール

【下欄】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 水に溶かし、消石灰等の水溶液を加えて処理したあと、希硫酸を加えて中和し、沈殿濾過して埋立処分する。2 水で希薄な水溶液とし、酸で中和させたあと、多量の水で希釈して処理する。3 多量のアルカリ水溶液中に吹き込んだあと、多量の水で希釈して処理する。4 珪そう土等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。 |
|---|

2 トルエンの注意事項として、最も適切なものを下欄から選びなさい。

【下欄】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 反応性が極めて高く、水素又は炭化水素と爆発的に反応する。2 それ自体では不燃性であるが、分解が起こると激しく酸素を発生し、周囲に易燃物があると火災になるおそれがある。3 引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなるので、火気は絶対に近づけない。 |
|--|